

しっかり教え、じっくり考え、はっきり表現し、きっちりおさえる湯中授業モデル

思考力・判断力・表現力を育成する授業モデル(学習過程・言語活動の工夫との関連)

	学 習 過 程	言語活動の工夫
課題設定	<p>教師：課題提示と発問（理由や根拠を問う） 生徒：課題発見・課題把握 （なぜ・・・、どうして・・・）</p> <p>しっかり教える</p> <p>問題場面との 出会い</p> <p>○本時の学習に必要な知識や技能の習得 ○基礎的・基本的事項の確認 ※課題設定と前後することあり</p> <p>めあて：本時のめあてをつかむ （例）「今日は～が・・・のときの解決方法をみつけていこう」</p> <p>解決の見通し、方法の選択、ICT活用【提示】</p>	<p>◎経験や既習事項との比較 （今までの問題と似ているところ、違うところは？）</p> <p>◎課題の整理や焦点化 （何がわかっていて、何を聞いてあるのか、何をするのか）</p> <p>湯中版 各教科等における 言語活動の取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研究主題 2 主題について 3 言語活動のポイント
	個人思考	<p>教師：主な発問 → 実態把握 → 必要な情報の再提示</p> <p>生徒：課題解決のために自分で考える</p> <p>じっくり考えさせる</p> <p>（例）①自分の考えや根拠を整理し、ノートやワークシートに書く。【書き出す】 ②自分の考えを表す。【製作・演奏・演技・表現など】 ③ICT活用【情報の収集・選択】</p>
集団思考	<p>生徒：課題解決のために話し合う</p> <p>じっくり考えさせる</p> <p>（例）①互いの考えを交流【発表】 ②自分の考えと比べ、類似点や相似点を明確にする【比較】 ③考えを練り合わせる【統合】 ④ICT活用【可視化】</p> <p>教師：練り合わせるための補助発問</p> <p>はっきり表現させる</p> <p>（例）①広げる：他の考えに気づかせる。 ②しぼる：より効果的なもの、よりふさわしいものに絞り込ませる。 ③整理する：グループにわけ、きまりや法則、規則性、よさなどをみつける。 ④ゆさぶる：根拠を問い、考えをより確かなものにさせる。</p>	<p>◎「問う」ことでさらに考えを深めさせる。 簡単にまとめると？ ○つのグループにわけると？ 他の場合でもできるか？ 類似点や相違点は？ 別の考えはないか？</p>
まとめ・振り返り 習熟・活用	<p>教師：学習内容のまとめと確認 → 実態把握 → 評価・支援</p> <p>生徒：自分の考えを整理し学習内容を振り返り、まとめる</p> <p>（例）①ノートやワークシートにまとめる。【書き出す】 ②本時の課題に対応してまとめを発表する。【発表】 ③自己評価シートで振り返る。【振り返り】 ④ICT活用【再確認・定着】</p> <p>きっちりおさえる</p> <p>学習で獲得した知識や技能の習熟や活用 ※まとめと前後することあり</p> <p>「かめさんスクール」と家庭学習との連動 → 基礎的・基本的事項のさらなる徹底</p>	<p>【基本的な板書例】 日付 単元名 確かめる 課題（問題） 自力解決 まとめる</p>